

会議録様式

審議会名	令和2年度 第2回杉戸町障がい者計画推進懇話会
開催日時	令和2年10月16日(金) 午後2時00分～3時40分
開催場所	すぎとピア 講座室
会議の議題	(1) 杉戸町の障がい福祉などに関するアンケート調査報告について (2) 障がい福祉サービス第5期計画実績について (3) 障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定のためのヒアリングシートについて
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 (公開の場合傍聴者数 1人) (非公開の場合理由)
出席委員氏名	間宮佐委員 藤田康子委員 猪股ふじ江委員 柴田周子委員 須田恒男委員 星野百合子委員 青木一子委員 岩上洋一委員 田中佳世委員 若林正樹委員
審議の概要	1 審議事項 (1) 杉戸町の障がい福祉などに関するアンケート調査報告について (2) 障がい福祉サービス第5期計画実績について (3) 障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定のためのヒアリングシートについて
	2 主な意見 (1) 杉戸町の障がい福祉などに関するアンケート調査報告について  委員) アンケートの結果を見ると、知的障がいの人は地域社会に入りたいのか、施設に入りたいのか、共同生活をしたいのか、揺れているように思うが。  回答) 知的障がいの方でも年齢が高い方が施設を希望しているという結果が出ている。 受け取り側の状況で意味合いも違うと思うので、高齢の方であれば、より安心出来る施設に入りたいという結果が高くなると思うので、そのことが反映されていると思われます。
	委員) 親の高齢化の問題や状況によって、施設に入所したいという考えの人が多いのではないか、高齢化の問題が半分は絡んでいると思う。

回答)

障がいの程度にもよるが、軽度の方は本人の意思と能力に基づきグループホームを選び地域で、重度の方に関しては、プロの介助を受けられる福祉施設に入所したいという、本人や、実際には親御さんの希望があります。

今後の考え方については、支援の重要性、緊急性が高い方に関しては施設入所を支援し、軽度の方には地域における生活を実現するために背中を押して手助けをしていく・見守るという方向性を杉戸町でも考えていくことになると思います。

委員)

アンケートの回答者のそれぞれの割合を教えてください。

回答)

本人回答が 54.6%、本人に代わり代筆による回答が 12.7%、本人の立場や気持ちになって家族や介助者が回答が 15.8%となっています。

委員)

意思表示ができない人が 3割いるということですが、計画策定にあたりその 3割の方の意思確認をするすべを何か考えているのでしょうか。

回答)

代筆の 12%は基本的には御本人の意思だと考えられますが、代筆の 16%については考える必要があります。

ただアンケート結果は切り口のひとつであり、アンケートから得られた課題と現行の計画を進めている中での課題、ヒアリングからあがってきた課題を総合的に勘案して計画を策定していきます。

仕上げに委員から意見をいただき、補正しながら作っていきます。

## (2) 障がい福祉サービス第 5 期計画実績について

委員)

放課後等デイサービスの利用が増えているということだが、子どもの数は少なくなっているにもかかわらず、利用が増えているというのは、どのような要因が考えられるか。

回答)

発達障害のあるお子さんのスクリーニングが発達してきていることが大きな要因だと考えられます。

専門機関の相談窓口が整備されてきたので、支援機関を利用することが増えてきたのではないかと思います。

	<p>(3) 障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定のためのヒアリングシートについて</p> <p>委員) どのような団体に送るのか。</p> <p>回答) 懇話会委員の所属団体、ボランティア団体、相談支援事業所、町内事業所等を考えています。</p>
--	--